

● 空気中のウイルス対策

換気

新型コロナウイルス等の微粒子を室外に排出するためには、こまめに換気を行い、部屋の空気を入れ換えることが必要です。室内の温度や湿度が大きく変化しないよう注意しながら、定期的な換気を行いましょ。寒冷な場面や冬場における換気の悪い密閉空間を改善するための換気方法<sup>48</sup>については、空気の流れを意識しながら、少しだけ窓を開けて常時換気をする方が、室温変化を抑えられます。窓を開ける幅は、居室の温度と相対湿度をこまめに測定しながら調整しましょ。また、人がいない部屋の窓を開け、廊下を経由して、少し暖まった状態の新鮮な空気を人のいる部屋に取り入れること（二段階換気）も、室温変化を抑えるのに有効です。なお、温度と湿度を保つために暖房器具や加湿器を併用することや、CO<sub>2</sub>センサーを設置して二酸化炭素濃度をモニターし適度な換気実施することも有効です。

なお、人がいる環境に、消毒や除菌効果をうたう商品を空間に噴霧して使用することは、眼、皮膚への付着や吸入による健康影響のおそれがあることから推奨されていません。また、消毒や除菌効果をうたう商品をマスクに噴霧し、薬剤を吸引してしまうような状態でマスクを使用することは、健康被害のおそれがあることから推奨されていません。

介護施設においては、入所者の特性から窓を開放することが難しい場合もあること、また、高齢者の健康状態等によっては、機械換気（空気調和設備、機械換気設備）による方法が望ましい場合もあることから、介護現場の実情に応じて部屋の空気を入れ換えることが必要です。

なお、加湿器を使用する場合には、こまめに水を替えるなどレジオネラ対策を講ずることも必要です。[☞160ページ](#)

<sup>48</sup> 「寒冷な場面における感染防止対策の徹底等について」（令和2年11月11日付内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室事務連絡）<https://www.mhlw.go.jp/content/000695178.pdf>  
「冬場における「換気の悪い密閉空間」を改善するための換気方法」（令和2年11月27日）  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_15102.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_15102.html)